

どう思うか。

①味付けは、それぞれの調理に携わっている者が行いますが、最終の確認は栄養教諭が行います。

②これまで、中山町の学校給食が美味しくないと言われたことはなく、逆に様々な学校給食を食べてきた先生方からは、大変美味しいとお褒めの言葉をいただいています。

③現在11名の委員で組織されていますが、試食や献立提示の実施に向け検討したいと考えています。

町のホームページについて

最近、町の公式ホームページがかなり充実してきたが、今後の改善や考え方について伺いたい。

町広報委員を始め各方面からのご意見をいただきながら、常に最新の情報を積極的に掲載し、誰もが見たい情報へすぐにたどり着けるような、親切でわかりやすいホームページへと進化させていきたいと考えています。

鎌上 徹議員



町のスポーツ全般について

町長は、これまでスポーツ全般についての様々な話合いの中で、ポジティブな考え方で意見を集約したり、多くの考えを持たれていたが、次の点について考えを伺いたい。

- ①屋内ゲートボール場すばく中山について、ボールによる破損を防ぐため天井部にネットを設置するなどして、多種のスポーツがフルに活用できるようにならないか。また、コートの上土土の影響を考慮し、土の入れ替えや人工芝化ができないか。
- ②体育館についても、施設の破損を防ぐためのネットを設置するなどして、フットサルやテニス、野球、ソフトボールなどの冬期間の練習場所に提供できないか。
- ③新設される中山中学校のテニスコートやサッカーコートへ人工芝を整備してはどうか。テニスでは、クレイコートを使う大会はほとんどない。
- ④各種スポーツで全国大会に出場される方への激励金を増額してはどうか。
- ⑤ゲートボールの専用施設として整備されたものであり、軽スポーツや同種の練習に使用されるべきもので、施設の破損につながる行為を行わないよう引続きお願いしていきます。天井部のネット設置については、天井が低く有効な活用にはならないと考えています。コートの上土は、現在は土壤安定剤を使用し表土が舞い上がらないよう対策を講じています。人工芝化は、高額な整備費用が必要なことから、現在のところ考えていない状況です。

- ②ネットを設置しても、施設の壁面、床への衝撃に対する耐用度などの面から難しいと考えます。使用目的以外の使い方をすると施設や設備の破損につながり、事故の原因にもなることから、適正な使用をお願いしているところですが。
- ③人工芝はクレイコートの約2.5倍の建設費用を要し、ほぼ10年ごとに張替えなどの改修が必要なことから、中学校ではクレイコートが適当と考えています。世界的に見れば、テニスコートの約8割はハードコートまたはクレイコートであり、町民テニスコートは人工芝で中学校はクレイコートと世界に通用する2つのコートを有するという十分な対応と考えています。

- ④現在、個人に1万円、団体に3万円を交付しています。が、体育協会などからの要望もあることから、今後検討していきたいと考えています。

西塔いく子議員



原水爆禁止世界大会へ若者の派遣を

今年、戦後・原爆投下70年という節目の年でもあり、平和都市宣言をしている町の事業の一環として、広島、長崎で毎年開催されている原水爆禁止世界大会へ町民を派遣してはどうか。

平和の大切さを若い世代に継承していくことは重要であり、新成人などが参加することは大いに意義のあることだと考えますが、地域や職場、団体・個人を問わず、自主的に参加するという姿勢が必要なのではないかと思えます。町費を

- ①町営中原住宅は老朽化が著しいが、今後どのようにしていくのか。
 - ②空き家をリフォームし町で借受け、安い家賃で貸すなどの対策を講じる考えはないか。
- ①中原住宅は築後46年となり、建物の安全度を早急に把握し、修繕や建替え、取壊しなどについて検討する必要がありますことから、耐震診断や劣化状況などの諸調査を早急に進めたいと考えています。

若者に安い家賃の住宅の提供を考えてはどうか

地域の中に若い家族が入ってくることは、地域にとっても明るいことであり、中山町はベッドタウン的な役割でも町を十分活性化できると考える。若者が中山町に家庭を持ち定着するためには、安い家賃で入居できる所を提供することが必要と思われるが、町の考えを伺いたい。

努力していきます。大規模修繕や建替えは多額の事業費と現実の大幅増額を伴うこと、取壊しは継続して居住できる権利に対する配慮などが課題となり、短期間での事業実施は極めて困難と考えます。

②空き家バンクについては、新年度に取組たいと考えています。また、県補助を受け町が実施している住宅リフォーム総合支援事業に、新年度から新たに空き家活用タイプがメニューに加わったことから活用をしていきます。交流人口の拡大などを目指した空き家の積極的な活用策については、もう少し時間をかけて検討したいと考えています。

質疑応答

平成26年度補正予算・平成27年度予算・その他

④4月以降新規に町民を正規職員として雇用する町内事業者を助成する「地元雇用促進補助金制度」を創設することになるが、周知等

- は進めているのか。
- ①国の地方創生予算として補正措置された地方創生先行型交付金事業としての取組で、まだ周知は行っていませんが、早急に補助要綱等を策定し対応したいと考えています。
- ②新年度のプレミアム付商品券はプレミアム率を20%としているが、町内企業が燃料代等を支払うために従業員に大量に購入させるなどして一般町民が買えなくなるようなことがないよう配慮してほしい。
- ③中山町商品券振興会の検討委員会において、そのような面も踏まえ検討してもらおうようお願いしていきたいと考えています。
- ④老人福祉施設入所措置費の419万6千円の減額補正の理由は、
- ⑤経済面や住居、家庭環境等により自宅では生活が困難な高齢者の入所措置に要する経費ですが、これまでの入所者が要介護状態になり特別養護老人ホームへ入所するため施設を退所することになったことから減額するものです。
- ⑥学校給食食材における地域産業活性化促進事業補助

- 金248万2千円の考え方は。
- ①学校給食における地元農産物および町内の食材取扱店の商品の利用拡大を図るため、学校給食会計に対し補助するものです。
- ②交通安全対策費の消耗品費5万5千円の増額補正は、交通安全協会の要望への対応か。
- ③長崎地区および豊田地区交通安全協会からの財政難に伴う要望により、老朽化による交通安全啓発ののぼり旗を計画的に更新するための費用を補正するものです。
- ④新年度からの保育料の変更内容は、
- ⑤法律の改正により、保育料の階層区分をこれまでの所得税額から町民税所得割課税額による区分に変更するものです。なお、現在の利用者の負担が極力激変しない設定とし、国の標準負担額と同額以下にすることや、階層や年齢区分毎のバランスを図りながら改定するものです。
- ⑥保育料収入の新年度予算額が前年度比で約200万円減少しているが、なかやま保育園の園児数の推移は、

- 平成25年度末が209名、平成26年度の現時点で191名、新年度の入園予定者が185名となっています。
- ①介護保険法の改正により、要支援1と2の訪問介護と通所介護が市町村事業に移行する件について、当町の対応を伺いたい。
- ②当町の現在の状況では体制の整備に時間を要することから、平成29年4月から実施するという経過措置を設けることにするものです。
- ③市町村の条例に委任された指定介護予防支援事業の人員および運営等についての変更点は、
- ④指定の基準等の内容に変更はありませんが、事業所設立等の申請先や許可の権限について県から市町村に移管されることになりました。
- ⑤現在の町道の認定基準および新たに認定する2路線の距離を伺いたい。
- ⑥基本的に幅員は6m以上で、その他の諸条件等も含め認定基準で定めています。今回は開発行為で築造された道路の寄附を受け認定するもので、上町1号線は73m、桜町中央5号支線は61mとなっています。

- 町長は「人づくり・夢づくり」「まちづくりはみんなの共同作業」という目標を掲げられ当選された。当選後の予算編成は短期間であったが、新年度予算に公約等を反映した部分があるか。
- ①人づくりがまちづくりをするという基本理念を訴えて当選させていただきました。まずは地方創生に全力で取り組むため、平成27年度は当町の地方版総合戦略の策定をするための経費に加え、第5次中山町総合計画の平成28年度からの後期5か年計画の見直しを行うための経費を措置しています。
- ②農業集落排水岡・土橋処理区を公共下水道に接続するための年次計画はどうなっているか。また、地元住民への程度周知されているか。
- ③岡処理区は平成29年度、土橋処理区は平成30年度の接続を目的に関係機関との調整や事務を進めています。地元住民へは、平成25年度に説明会を実施しており、平成28年度頃から細部についても説明していきたいと考えています。